



企業が独立行動と環境を有すること

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

企業が独立体として社会活動と自己活動を有することは、企業が社会への参加を自己の目的や理想とともに実現することを自己事業基盤において可能とされるものである。

これらは自己資本基盤が、企業が社会団体として自己行動を模索することであり、これらは時代変化や許容においてかけがえのない企業の新たな意欲の創造を提案できると考える。

これらは一切制限のない活動を企業が自己の理念や目的において実現することであり、新しい市場における企業の資本の強さが、国家に依存しない新しい企業体質とともに、新しい自己環境を提案できるものである。

これらは企業が企業努力において有する自己の独立性が飛躍し、多様な社会活動を許容するものである。

これらは企業が独立した組織として自己の目的を追求するとき、多様な人材が自己の目的において参加することができるのである。

これらは民間組織が、小さな政府という民間活動の許容とともに、新しい現実の創造を提案できるのである。

これらは民間活力が国家と世界を新たに創造することを可能とするものである。

これらは社会奉仕に限定しない、企業活動が、行政への参加などとともに、新しい現実の構築を提案しているのである。